

磐城時報

石城郡磐城町十四番地
電話 二四一
印刷 磐城印刷所
代印 所加納活版所
石城郡磐城町十四番地
電話 二四一
印刷 磐城印刷所
代印 所加納活版所

石城醫師會の總會 會長問題で一波亂か

會長の椅子をめぐり人々 早くも運動開始

石城郡醫師會總會は二十一日平結果上小川村で一名落選し上小川村二名、下小川村四名の當選であるが、當日は役員改選の如く行はるゝ筈で、醫師のうちには現會長市原卯太郎氏に引退を迫り新らしい會長を戴かうといふ運動が可成り猛烈に行はれてゐるらしいのでこれを知つた長老連は圓満裡に役員改選をなさしめたいと考へ協議の結果新會長は現會長の指名に一任せしめやうとした處一部醫進は之に耳を藉さず飽くまでも選挙によつて會長を決しやうと訓策中であるといふから當日の總會は意外に緊張した場面を見せられるであらうと察せられてゐる。

安島氏榮轉 穀物檢査所平支所主任

石城郡四倉町助役波千之助氏は来る二十二日任期満了するの爲め、中村支所から名取川松治氏に榮轉する、安島氏は二十五日午前八時二十分平驛發で赴任する。

四倉町助役改選

石城郡四倉町助役波千之助氏は来る二十二日任期満了するの爲め、中村支所から名取川松治氏に榮轉する、安島氏は二十五日午前八時二十分平驛發で赴任する。

竹の家の「おかめ」

追ひかけて来た情夫は平署で拘留處分

平町田町藝妓屋竹の家事真木隆逃走したもので同家に潜伏して四郎方抱藝妓おかめ事上田よしゐる事が判つたので数日前抱主行衛不明となつたが、竹の家ではおかめに前貸金千二百圓も再び同人を連れ出さんとして十たつたのでその後躍起となつて行八日密かに平町に來り三丁目山衛捜索の結果原籍福岡縣京郡本屋旅館に會社員森友秀廣(三)豊津村生れ當時東京市麹町區富七)と偽名して宿泊しおかめに士見町六丁目森友秀男(三七)と逢ふ機会をねらつてゐる事早く

小川村揉める

國井氏を代表者とす

石城郡小川組合村では過般の家屋調査委員選挙に際し上小川村と下小川村が協議の結果各々三名宛の候補者を立て無競争で選挙を行ふ筈であつたが、下小川村では協調を破り選挙間際に候補者を四名としたため定員より一名超過となり競争の

踏切問題

三委員が陳情

平町大工町鐵道踏切改修問題は平町會の決議に基き委員が熱心に奔走の結果衆議院議員請願委員會に採擇さるゝに至つたので此際更に實現に向つて猛烈な運動を起す事となり不日該問題の委員佐々木龍若、吉田寅之輔、櫻井清の三氏は帶同して上京し、鐵道省に對し改修の陳情をなす事になつた。

平町私立學校で

醜い生徒爭奪戰

公立學校長會で問題となり 官立學校長が仲裁

平町内の私立學校は町の大ききから見て非常に發達したものであり平陽女學校、藤田女學校、磐城産科婦科看護學校、平産婆看護學校、佐賀學舎、磐城青年學校等を初めその數大小十指に近く、その生徒數も一千數百名に及び教育思想の上から見て非常に喜ばしい事情を示して居るが、最近の不景氣に祟られ右私立學校中には經營の上に相當困難なものがあつて、従つて生徒の奪ひ合ひを演じ遂にこの醜争を表面化するに至つた、即ち十七日午後一時から磐城高女に於て開催された平町公立學校長會に於て佐賀學舎が生徒横取りの事實を列挙してその不良行為を指摘し大問題を惹起せしめたことが内容は

モグリ宿屋の主人

春川巡查を殴る

石城郡内郷村大字御殿齋藤忠吉が駐在所春川巡查が同家に赴いて来たが許可に接せぬうち十八けたので公務執行妨害として平日夜客を泊めたので、之を知つ署に檢束された。

添寝中 乳房で壓死

石城郡飯野村大字南白土若松守分目下氏名詐稱の體により拘留處分に附し余罪を取調べ中である

可愛そうな 無籍の少年

十八日夜平驛待合室に暴動不審の少年が居るのを發見事情を聞いた處、之の少年は無籍者で具塚源一と呼ばれ十三歳の少年であるが、二三日前迄埼玉縣川越市某商店に勤めて居た處同家を出入山炭礦第五坑で岩石破壊作業者中不發爆薬を取り出さんとし聞かされたので幼少の頃からた際俄然爆發し坑夫同町賀川源之助(三三)は左手首をはね飛ばし金全部を出して平驛までの切符され同佐藤春吉(三八)は左足にを買い求め下車したもので原町火傷した、兩名とも生命は別條まで行くのに窮してゐたものと判明、平署で保護中である。

二毛作品評會

石城郡平窪村、好間村、夏井村、神谷村聯合二毛作品評會は二十日から二十四日迄開催、青山技師審査の上賞品を授與する

坑夫二名負傷

十七日午前七時二十分頃石城郡湯本市某商店に勤めて居た處同家を出入山炭礦第五坑で岩石破壊作業者中不發爆薬を取り出さんとし聞かされたので幼少の頃からた際俄然爆發し坑夫同町賀川源之助(三三)は左手首をはね飛ばし金全部を出して平驛までの切符され同佐藤春吉(三八)は左足にを買い求め下車したもので原町火傷した、兩名とも生命は別條まで行くのに窮してゐたものと判明、平署で保護中である。

謹告

本社主催第二回縣下中等學校野球大會を左の如く開催致します。

一日時六月二十二日
會場 平町磐城中等學校球場

一 本年參加校
磐城中等學校
雙葉中等學校
相馬中等學校
安積中等學校

一 試合方法 優勝戰
一 試合球 シヤパンリングボール

主催 磐城時報社

幼兒を轢き

石城郡好間村自轉車業猪狩啓直を請じない云ふので十七日は去る九日平町田町地内オーパイを運轉しあやまつて同町署提起した。

告

新澤あの子(六つ)を轢き倒し全治三週間の重傷を負はせたが其後猪狩は被害者に何等慰籍方法を請じない云ふので十七日は去る九日平町田町地内オーパイを運轉しあやまつて同町署提起した。



俳句

難 詠 渡邊瘦蛙
一房の水にふれけり藤の花
雷焼けの耳にこたえぬ寒返り
寒行や尊き僧の草鞋はく
物干に晴着懸りて松過ぎぬ
春の野を子等高らかに歌へ行
く
バラバラの破れ垣根や羽蟻飛
ぶ
草負ふて下る後や青嵐
橋ふめば波紋いがえて目高散
る
菖蒲湯や還暦の父健やかに
句帖より右忠作句自選致しまし
た、先輩の方々の御選御句評を
紙上に希冀致します。

時報文藝

春は近く せんえだ
ナミダに濡れ乍ら
桃色の花辨の忍び泣き
石垣の錆びた鐵柵に
一ヒラニヒラ
ホロ／＼と散る櫻の花は
土堤の青草を
桃色の情炎をこかしませ
崩れた石のキザハシに
すゝり泣くオトコとオンナ
春は近きます

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・アランク・白 1.10
マルソー・ルージュ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

鼻の薬「チクノール」
平五 山野邊藥局

一九三〇年式の浴衣御案内
粹で！高尚で！！現代的な!!!
婦人俱樂部浴衣 昭和調婦女界のかた
リ！ク戦浴衣 繪羽模様構成浴衣
外十數種豊富に取揃へて
陳列致してあります
洋傘と本セルの特賣
三井吳服店

BISHINGAN
子宮美神丸
一日一錠 僅か五錢
自安 價廉 便簡 効卓 秘す
治す 療密 療密 療密
の 治 療 密 療 密 療 密

◎こんな徴候の人々は一時も早く治療すべきです
つる人 血帯下、赤帯下、コシケ多き人 下腹痛く筋張り又は
月經時に腹痛の痛む人 腰脚の冷え又は痺れる人 月經不順
時の前後に白粘つたこしけが下る人 子宮麻痺毒尿意頻
頭痛、耳鳴、眩暈する人 肩が凝り又は背が痛む人 逆頻
早産する人 定價 一週分 一・四〇 二週分 二・八〇
五週分 一・八〇 十週分 三・五〇
代理店 平町五丁目角 **山野邊藥局**

平町紺屋町
吉田眼科病院
電話 六八八番
◎免状所有看護婦人用

株券紛失廣告
一、小名濱水産株式會社 株券
甲第貳參九號 (拾株券壹枚)
右紛失候間及廣告候也
小名濱水産株式會社

創業廣告
今般時代の趨勢に鑑み合資會社高橋商會を創
業いたし左記營業種目に依り親切第一主義を
以て營業致す事と相成候間何卒御利用御用命
の程に願申上候
營業種目 燃料 木材
金 融 仲 立
平町白銀町
合資會社 **高橋商會**
代表者 高橋龜松
電話 六三八番

◎新入學期と時計
同時計は大谷
器械部戦線異状なし
優良なる器械で安く
殊に學生は元價提供
平町三番 **大谷時計病院**
電話一九三番

吸入用酸素酸素吸入器
正確体温器寒暖計
持幣城平町
特約店 **関内藥局**
電話四〇番

油と味噌
福島縣平町
山崎合名會社
電話 一〇番
振替東京一九七五番
上野車坂四三
東京支店
電話 下谷五七二番
振替東京六八三二番

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋守次
諸橋元三郎
電話九番・一三九番

内柳病科 小兒科 (入院應需)
藤沼醫院
平町紺屋町
電話 平町五〇七番

耳鼻咽喉科
新築場所 **合津醫院**
電話 五五九番

◎移轉廣告
小生左記ノ處ニ醫院開設一般診療ニ
從事致シマシス
昭和五年五月
四倉町本町(郵便局向ヒ) (電話三五番)
木村醫院
醫學士 木村守江

◎診療科目
外科 花柳科 婦人科 内科 皮膚科
平町清野キヨ
看護婦會
◎看護婦派出の需めに應じます